

杉戸町記者発表資料

○令和8年1月14日（水）

○担当課名 産業振興課

○担当者職名 課長 氏名 新堀直樹

主査 氏名 清川真理子

○電話番号 0480-33-1111 内線 309

○17時15分以降 0480-31-8821（直通）

大落古利根川張り出しテラスにストリート・ファニチャーが完成！

埼玉県「水辺deベンチャーチャレンジ」と連携し整備された大落古利根川護岸の張り出しテラスに、日本工業大学吉村研究室の御協力により、ストリート・ファニチャーが設置されました。歌川広重（うたがわ・ひろしげ）によると言われる杉戸宿の浮世絵に描かれた縁台が、川面をモチーフとした座面で現代に甦りました。

町と日本工業大学は包括的連携協定を締結し、地域課題に適切に対応しながら魅力あふれる地域創生に向けて、各種事業に連携して取り組むなか、このプロジェクトは地域と大学院建築デザイン学専攻の学生との何気ない会話から生まれました。デザインからコンピューター制御の高度な加工機械を用いた製作まで、様々な角度からの検討を重ね、構想・デザイン6ヶ月、試作・制作4ヶ月の計10ヶ月を経て、この度完成致しました。

※ストリート・ファニチャーとは、公共の場に設置された家具やオブジェクト、機器のことをいいます。

概要

- ・所在地 杉戸町清地1丁目9番地先 杉戸町観光案内所「流灯ふれあい館」付近
- ・協力 日本工業大学大学院建築デザイン学専攻
- ・実施主体 古利根川活用推進協議会・杉戸町

古利根川活用推進協議会とは

古利根川の活用を促進するとともに、地域経済の活性化及び良好な生活環境の創出を図ることを目的とし、県及び町、町観光協会や古利根川の活用に関連する団体の代表により構成された協議会です。

プロジェクトリーダーの感想（吉村研究室 嵩島愛華さん）

6月にプロジェクトリーダーになってから、授業の合間や夏休みのほとんどの時間を費やし、つくり方からデザインまで何度も試行錯誤を重ねて制作した縁台です。「大落古利根川の水面に座ってみたいね」という話しがきっかけになりました。地域のみなさまに、川の流れて感じて頂ければ幸いです。このような機会をいただきありがとうございました。

その他

【別添資料】 **資料** 現地作業の様子

【取材対応】取材を希望される報道各社の方におかれましては、記者発表担当者（本紙上欄の電話番号）まで御連絡ください。

【設置当日の様子】

